

高槻キャンパスに「アイスアリーナ」を建築

2006年7月に竣工予定

他大学のクラブや地域の小・中・高等学校にも開放

このたび関西大学では、高槻キャンパス第2グラウンドに、国際競技規格の通年型アイススケートリンク「アイスアリーナ」を建築することになりました。工期は、本年10月17日から明年7月13日の予定です。

関西大学のスケート競技のクラブとしては、1955年(昭和30年)創部のアイススケート部、1948年(昭和23年)創部のアイスホッケー部があります。

現在、アイススケート部には世界レベルの高橋大輔君(文学部2年次生)と織田信成君(文学部1年次生)、日本学生レベルの平井絵己さん(経済学部1年次生)など、アイスホッケー部には、高校時代にU18の日本代表候補であった鷺橋芳仁君(商学部3年次生)と高崎敏広君(総合情報学部1年次生)や、カナダへの留学経験を持つ山本哲央君(文学部1年次生)などの優秀な選手が所属しています。

これまで両部では、高槻市内のアイススケートリンク(高槻O2スケートリンク)を練習場として使用してきましたが、昨年11月末に閉鎖となり、以後は近隣のアイススケートリンク(大阪府立臨海スポーツセンター、アクアピアアイスアリーナなど)を使用してきました。

しかし、それらのアイススケートリンクは既に他大学チームや社会人チームなどの利用で飽和状態となっているため、練習場の確保が非常に困難な状況となっていました。

現在、世界および日本のトップレベルの選手が在籍するなか、本学の経営方針・基本理念でも謳っている「強い関西大学」を実現させるべく、両クラブをさらに支援していくことが学内外から求められています。

「アイスアリーナ」の完成後は、本学アイススケート部とアイスホッケー部、あるいは関西大学第一高等学校アイスホッケー部の活動拠点となるとともに、現在、本学と同様に練習場の確保に苦慮されている他大学等のクラブに対しても、可能な限り開放する予定です。併せて、近隣の小・中・高等学校の課外行事での利用などに対しても施設を積極的に開放することで、社会貢献の一翼を担うことにしています。



<完成予想図>

今回建築することになった「アイスアリーナ」は、延べ床面積が3,598.50平方メートルで、518席の観客席や電光掲示板、さらには高性能な音響設備も完備した本格的な施設です。スケートリンクの規模は縦60メートル×横30メートル。これは、アイスホッケーの国際競技規格を満たしており、フィギュアスケートやスピードスケート・ショートトラックの公式試合開催も可能です。

また、コーチなどが泊り込みで選手の指導にあたることができるように、宿泊施設も完備しています。

なお、スケートリンクの製氷方式としては、省エネルギー性能が極めて高い、世界初のガス小型熱源集中設置・運転台数制御方式<GHP[ICE RINK]システム(Gas Heat Pump Ice Control Eco-system Reducing Investment by Non-Step-program at Kansai univ.) (大阪ガス提案)>を採用する予定で、従来の一般的なシステムに比べ、年間の製氷エネルギーが約10%節減でき、Co2も27%削減できる、地球環境に配慮した画期的なシステムを採用しています。

「アイスアリーナ」建築概要

建物名称	「関西大学高槻キャンパス アイスアリーナ」(仮称)
施設内容	通年型アイススケートリンク
建築場所	関西大学高槻キャンパス 第2グラウンド 所在地 / 〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2丁目1番1号
構造	鉄骨造陸屋根2階建て
延床面積	3,598.50平方メートル
競技場規模	縦60メートル×横30メートル (フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート・ショートトラックの公式試合の開催が可能)
観客席数	518席
予定工期	2005年10月17日から2006年7月13日
使用方法	関西大学アイススケート部およびアイスホッケー部の練習 関西大学第一高等学校アイスホッケー部の練習 他大学や地域社会への施設開放

以上

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6337-7078

<http://www.kansai-u.ac.jp>

関西大学 アイススケート部およびアイスホッケー部について

アイススケート部

1955年(昭和30年)に創部し、今年で50年目を迎える。過去に佐藤信夫と佐藤久美子(旧姓大川)という2名のオリンピック選手を輩出した伝統と実績を持つ。昨年は、フィギュア男子、スピードスケート女子ともに関西インカレで総合優勝を達成。

現在、2005年ユニバーシアード冬季競技大会で金メダルを獲得した高橋大輔(文学部2年次生)、2005年世界ジュニア選手権優勝の織田信成(文学部1年次生)、日本学生レベルの平井絵己(経済学部1年次生)などが在籍。

創部	1955年(昭和30年)
部員数	19名(男子10名、女子9名)
競技実績	高橋大輔(文学部2年次生)2002年世界ジュニア選手権優勝、 2005年ユニバーシアード冬季競技大会金メダル 織田信成(文学部1年次生)2005年世界ジュニア選手権大会優勝、 2005年フィギュアスケート・サマー大会(カナダ・ソーンヒル)優勝 佐藤信夫1964年冬季オリンピック8位、1961年~1963年全日本大会3連覇 佐藤久美子(旧姓大川)1968年冬季オリンピック8位

アイスホッケー部

1948年(昭和23年)に創部し、今年で57年目を迎える。関西での公式戦では、関西学生リーグ戦14回優勝、関西学生氷上競技選手権で最多の優勝回数を誇る。

現在、アイスホッケー部には、高校時代にU18の日本代表候補であった鷺橋芳仁(商学部3年次生)と高崎敏広(総合情報学部1年次生)や、カナダへの留学経験を持つ山本哲央(文学部1年次生)などの有望選手がいるほか、アイスホッケーを国技としているカナダからの留学生1名も活動している。

また、2004年度北海道大会優勝及びインターハイ2位の北海道清水高校のレギュラー小笠原将仁DF(法学部1年次生)、清水川真央DF(経済学部1年次生)、高野亮祐GK(商学部1年次生)の3名も入部している。

創部	1948年(昭和23年)
部員数	35名(男子31名、女子4名)
競技実績	関西学生リーグ戦優勝回数 関大14回(立命館11回、同志社8回) 関西学生氷上競技選手権優勝回数 関大12回(立命館10回、同志社10回) 最近の成績は関西学生リーグ戦3年連続4位